

令和4年度地域と市長のまちづくり懇談会 豊校区

開催年度回次	令和4年度第2回	開催月日	4月24日	開催校区	豊校区	開催場所	豊校区市民館
議 題				市の回答			
<p>1. 街路樹について</p> <p>街路樹の木の落ち葉が多くて町民が困っています。落ち葉を片付けるのは市民の負担となっているのが現状です。</p> <p>木を根元から切る、または、大きくなならない木に植え替えるなど、負担を減らすためにできる対策を講じてください。</p>				<p>公園緑地課</p> <p>街路樹は、街並みをきれいにする景観機能、歩行者の日よけとなる緑陰機能や水分を蒸散し周辺の温度を下げる環境機能など、緑のまちづくりにはかかせないものですが、反面落ち葉の問題もあり、落ち葉が少なくなるように枝を抜くなどの剪定を行っております。</p> <p>現在、街路樹については、街路樹再生指針を作成し、老朽木や大径木の計画的な植え替えを実施しています。計画については、落ち葉、根上がり、通行障害、倒木の危険性等を考慮し、進めております。</p> <p>豊校区の街路樹は現計画には位置づけられておりませんが、順次、樹種の変更や適正な配置を行っていきたいと考えております。</p>			

開催年度回次	令和4年度第2回	開催月日	4月24日	開催校区	豊校区	開催場所	豊校区市民館
議 題				市の回答			
<p>2. 自治会と老人クラブについて</p> <p>自治会の役員の担い手がなく、今後運営に支障がでる可能性があります。特に自治会長は色々な場所への出席が多く、やり繰りが大変で引き受けることは拒まれます。</p> <p>他の町でも同様の声があるのではないのでしょうか。</p> <p>市長は豊橋における自治会の必要性と今後の存続にどのような考えをおもちでしょうか。</p> <p>また、老人会についても同様に、今後の運営は厳しく衰退していくと考えています。市として、自治会と老人会の必要性と今後の存続にどのような考えをお持ちでしょうか。</p>				<p>市民協働推進課</p> <p>近年、自治会役員の負担が増しており、担い手確保が困難な地域があることは認識をしております。</p> <p>自治会は様々なコミュニティ活動を行う大変重要な組織であり、災害時の対応、防犯活動、ごみステーションの管理などコミュニティ活動の必要性は益々高まっており、その中心となる自治会の役割は非常に大きいと考えています。</p> <p>地域が自治会によって支えられていることを市民に広くお伝えするため、広報とよはし6月号に特集記事を掲載する予定です。</p> <p>また、市からの依頼事項の削減、選任を依頼しています委員等の必要性や選出方法の見直し、紙の配布物の電子化など、自治会役員の負担軽減に努め、今まで役員に就任することが少なかった現役世代や女性など、誰もが従事できる環境を整えていく必要があると考えています。</p> <p>併せ、退職予定者に対するセミナー等機会あるごとに自治会活動への参加に向けた積極的な声掛けを行ってまいります。</p> <p>長寿介護課</p> <p>本市においても高齢者数は年々増加していますが、全国的な傾向と同様に、老人クラブ数及び会員数は、減少しています。</p> <p>一方で、同じく地域住民の方が主体となる「まちの居場所活動」の団体数やシルバー人材センターの会員数は年々増加していることから、高齢者の価値観が多様化していることが、老人クラブ数の減少の要因と考えています。</p> <p>個々の活動にはそれぞれの特徴があるため、個人にあった活動を選択できるように、複数の選択肢を提供することが重要であることに加えて、社会参加は介護予防にも有効とされていることから、気軽に社会参加できる活動の1つとして、今後も老人クラブは必要と考えています。</p>			